

コ 操作が適正に行われるために必要な表示装置が操作位置から明確に視認できる位置に設けられていること。

サ 迅速かつ確実に操作できる位置に配置されていること。

シ 安全防護領域内に設けることが必要な非常停止装置、ティーチング装置等の操作装置を除き、安全防護領域の外に設けられていること。

(2) 起動装置については、次に定めるところによるものとする。

ア 起動装置を意図的に操作したときに限り、機械の起動が可能であること。

イ 複数の起動装置を有する機械で、複数の労働者が作業に従事したときにいずれかの起動装置の操作により他の労働者に危害を及ぼすおそれのあるものについては、一つの起動装置の操作により起動する部分を限定すること等当該危険を防止するための措置を講じること。

(3) 機械の運転制御モードについては、次に定めるところによるものとする。

ア 選択された運転制御モードは、非常停止を除くすべてのモードに優先すること。

イ 安全水準の異なる複数の運転制御モードで使用されるものについては、個々の運転制御モードの位置で固定できるモード切り換え装置を備えていること。

ウ ガードを取り外し、又は安全防護装置を解除して機械を運転するときに使用するモードには、次のような機能を有するものとする。

(ア) 手動による操作方法によってのみ、危険源となる運動部分を動作できること。

(イ) 動作を連続して行う必要があるときは、危険源となる運動部分は、速度の低下、駆動力の低下、ステップバイステップ動作等でのみ動作できること。

(4) 通常の停止のための装置については、次に定めるところによるものとする。

ア 停止命令は、運転命令より優先されること。

イ 複数の機械を組合せ、連動して運転するものにあつては、いずれかの機械を停止させたときに、運転を継続するとリスクの増加を生じるおそれのある他の機械も同時に停止する構造のものとする。

ウ 各操作部分に機械の一部又は全部を停止させるためのスイッチが設けられていること。

(5) 非常停止装置については、次に定めるところによるものとする。

ア 非常停止のためのスイッチが、明瞭に視認でき、かつ、直ちに操作可能な位置に必要な個数設けられていること。

イ 操作されたときに、リスクの増加を生じることなく、かつ、可能な限り速やかに機械を停止できること。

ウ 操作されたときに、必要に応じ、安全のための装置等を始動するか、又は始動を可能とすること。

エ 非常停止装置の解除の操作が行われるまで停止命令を維持すること。

オ 定められた解除操作が行われたときに限り、非常停止装置の解除が可能であること。

カ 非常停止装置の解除操作をしたときに、それにより直ちに再起動することがないこと。

13) リスクアセスメントについてさらに詳しく知るために

リスクアセスメントについてさらに詳しく知るための関連資料としては、次のものがあります。なお、リスクアセスメントは労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の中核となる活動であることから、OSHMS 関連及びプレス安全対策資料を合わせて紹介しています。

1 参考図書など

① ILOの労働安全衛生マネジメントシステムに関するガイドライン（定価 2,310 円）

英文と翻訳文を対訳で掲載するとともに、ILO ガイドライン策定の経緯などの関連情報についても紹介。安全衛生関係者必携の書。

② 中小企業のための職場のリスクアセスメント（定価 840 円）

安全で健康な職場の実現には、危険・有害の度合を的確に評価し、低減を図るための手法であるリスクアセスメントの導入が必須。本書は、中小規模事業場でリスクアセスメントを導入し、継続的に実施していくための手引書。

③ 職場の「リスクアセスメントの実際」－安全衛生のニューアプローチ（定価 2,100 円）

リスクアセスメントについて、その必要性、実施上のポイントを含め、先進的に職場でリスクアセスメントを実施してきた、日本のさまざまな業界における 13 企業の実施事例を収録。

④ リスクアセスメント担当者の実務（定価 1,470 円）

労働安全衛生マネジメントシステムを効果的に運用するためには、危険・有害要因を特定するための手法としてリスクアセスメントの導入が必須。リスクアセスメントの具体的な手順の決め方、方法、実施体制等を解説。

⑤ 新 プレス作業と安全（定価 1,470 円）

プレス機械作業主任者技能講習規程に準拠して編さんされた、プレス作業必読の書。構造一般、保守、点検、標準作業、災害事例、関係法令などを網羅。

⑥ 安全なプレス作業のために－プレス機械作業従事者安全教育用テキスト（定価 714 円）

プレス作業は、ちょっとした油断や間違った作業が永久に手指を失うような災害を引き起こす。初心者にもイラスト満載でわかりやすい安全なプレス作業を解説した作業教育用テキスト。

上記①～⑥のお申込・お問い合わせは：中災防事業推進部 業務管理課

TEL：03-3452-6401（ダイヤルイン）FAX：03-3452-2480

⑦ すぐできる安全衛生マネジメントシステム（定価 2,940 円）

中小企業から大企業までの現場でシステムを導入する支援のためのツールとして書かれたもので、第1編解説編、第2編実践編、第3編資料編の3編から構成されている。第1編では、国際的な動向と日本の動向が網羅され、第2編において構築の流れが6つの基本ステップをベースに、12のステップにわたって詳しく解説されている。

⑦のお申込・お問い合わせは：労働科学研究所出版部 TEL：044-977-2121

⑧ リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）関連ビデオ

- ◇ 安全衛生を先取りするリスクアセスメント（20分 39,900円）
- ◇ アシモと学ぶKYTとリスクアセスメント（17分 42,000円）
- ◇ 職場巡視の効果的な進め方 ～見る巡視から考える巡思へ
[リスクアセスメントと事後措置を含む]（20分 42,000円）
- ◇ 労働安全衛生マネジメントシステムのあらまし ～PDCAサイクルを回そう～
（20分 39,900円）
- ◇ OSHMSにおけるシステム監査（29分 39,900円）

⑧のお申込・お問い合わせは：安全衛生映像研究所 TEL：03-3457-0479・0403

FAX：03-3457-0585

2 中央労働災害防止協会（中災防）のOSHMS研修会

人材養成（厚生労働省の通達に基づく）

厚生労働省の通達に基づきOSHMSの業務に携わる人材養成のための研修会を都道府県労働基準協会等と協力して全国で開催し、OSHMSを導入しようとする事業場における人材確保を支援しています。

- ◇ リスクアセスメント実務研修会
- ◇ マネジメントシステムリーダー研修会
- ◇ システム監査実務研修会

OSHMSの導入を決められ担当者の養成や事前の情報収集として、当協会の研修会を利用される場合、先ずOSHMS全般を知ることができ、その取組みを中心になって進める人（リーダー）の養成を行う「マネジメントシステムリーダー研修会」の受講をお勧めします。

その後に、具体的なリスクアセスメントの考え方等の基本が分かる「リスクアセスメント実務研修会」、システム監査の仕組みづくり等の基本が分かる「システム監査実務研修会」を受講いただくと、より理解が得られると考えております。

お問い合わせ先：技術支援部 マネジメントシステム推進センター

TEL：03-3452-6376 FAX：03-5445-1774

E-mail:ms@jisha.or.jp

中央労働災害防止協会ホームページでも安全衛生関連情報を記載していますので御覧下さい。

ホームページアドレス：<http://www.jisha.or.jp>